

ユニバーサルタイム

からだ うご たの
体を動かすって楽しい!!

荻窪体育館 体育室・小体育室

■スケジュール(予定)

かい 回	ひづけ 日付	じかん 時間(受付は15分前から)
1	4月 5日 土	午前 10時～正午
2	5月 7日 水	午後 3時30分～5時30分
3	6月 4日 水	午後 3時30分～5時30分
4	7月 2日 水	午後 3時30分～5時30分

持ち物
・飲み物
・室内履き

交通アクセス すぎなみくおぎ窪
杉並区荻窪3-47-2
JR・東京メトロ丸の内線「荻窪駅」南口から徒歩7分
身体障害者用駐車場2台分あり



TAC杉並区上井草スポーツセンター グラウンドまたは体育館

■スケジュール(予定)

かい 回	ひづけ 日付	じかん 時間(受付は15分前から)	ばしょ 場所
1	4月16日 水	午後 3時～5時	グラウンド
2	5月14日 水	午後 3時～5時	グラウンド
3	6月21日 土	午前 10時～正午	体育館
4	7月23日 水	午後 3時～5時	体育館

持ち物
グラウンドの日
・飲み物・着替え
・タオル
・帽子、暑さ対策グッズ
体育館の日
・飲み物
・室内履き



交通アクセス すぎなみくかみい草
杉並区上井草3-34-1
西武新宿線「上井草駅」南口から徒歩5分
「荻窪駅」北口から西武バス「上井草保健センター循環」に乗り、「上井草スポーツセンター」下車徒歩3分
中止をするときは、前日の午後1時までに区ホームページに掲載します。
問合せ先(当日のみ有効) ☎090-2520-4957

TAC杉並区永福体育館 ビーチコートまたは体育館

■スケジュール(予定)

かい 回	ひづけ 日付	じかん 時間(受付は15分前から)	ばしょ 場所
1	5月25日 日	午前 10時～正午	ビーチコート
2	7月30日 水	午後 3時～5時	体育館

持ち物
ビーチコートの日
・飲み物・着替え
・タオル・厚手の靴下
・帽子、暑さ対策グッズ
体育館の日
・飲み物・室内履き



交通アクセス すぎなみくえいふく
杉並区永福1-7-6
京王線「下高井戸駅」から徒歩8分
京王線の頭線「永福町駅」から徒歩10分
身体障害者用駐車場1台分あり

対象は
障害のある方
介助が必要な方は
介助者同伴で
ご参加ください。



定期的開催
荻窪体育館と
上井草スポーツセンターで
月1回、定期的開催します。
新たに
永福体育館で
スタート!



障害の種類や程度、
ご希望に応じて、
やりたいこと、
できそうなことを
自由に選んで
楽しめます!



理学療法士、
看護師が常駐
理学療法士が、無理のない
運動をアドバイス。
サポーターが、一緒に
体を動かして楽しめます。
安心してご参加ください。



事前申し込み不要
入退場自由
開催している時間中は、
いつ来ても、
いつ帰ってもOKです!
見学だけでもOK!
一度、会場の様子を
見にきませんか～!

ユニバーサルタイム 荻窪



音のなるボールでサッカーしよう!

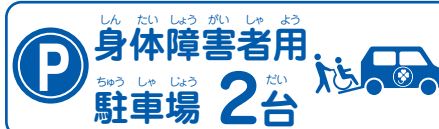


理学療法士が相談にのります

こんなことができます

- ・軽い運動(バランスボール、ストレッチ)
- ・エアートランポリン
- ・ダンス
- ・ボール種目(バスケ、サッカー、テニス、ティーボールなど)
- ・ランニング、ウォーキング
(ミニハードルやラダーでステップワーク)

理学療法士の方に体の調子を
みてもらったり、マッサージを
してもらったりしています。



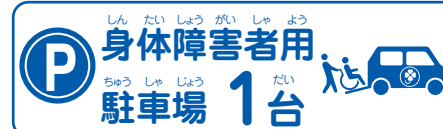
ユニバーサルタイム 永福

ビーチコートの日と体育館の日があります



ビーチコートでサラサラの砂の上を歩こう!

5月25日(日)に
初めて開催します!



こんなときは…

Q「初めての場所で行き方がわからない」、
「最寄り駅までは一人でできるけれど、
そこから会場まではサポートしてほしい」

A 誘導サポーターと一緒に会場へ 事前申込み
最寄り駅と会場の間を
スタッフが一緒に歩きます。
お気軽にご相談ください。



Q「車でいきたい。駐車場は使えるの?」

A 各施設に身体障害者用の駐車場が1~2台分
あります。各施設に事前にご連絡をいただくとス
ムーズです。上井草スポーツセンターには、機械
式駐車場が52台分あり、身体障害者手帳、愛の
手帳、精神障害者保健福祉手
帳をお持ちの方は駐車場料金
が無料です(受付で手続きが
必要です)。



ユニバーサルタイム 上井草

グラウンドの日と体育館の日があります



フライングディスクでの当て

グラウンドの日は、気持ちの良い芝の上で走ったり、
のびのび体を動かしたり、ボールを
思い切り投げたり。最高に楽しんでいます!



歩いたり走ったり!ステップワークにチャレンジ!

こんなことができます

- グラウンド
- ・ストレッチ
 - ・ランニング、ウォーキング
(ミニハードルやラダーでステップワーク)
 - ・ボール種目
(サッカー、野球、フライングディスクなど)

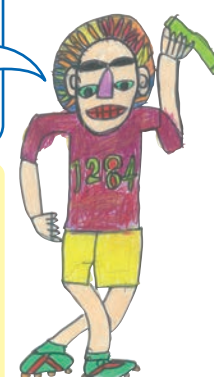


ラケットでボールを打つて楽しい!

いろいろな種目を自由にできるところが
楽しいです。
ユニバーサルタイムは知り合いが
増えるので嬉しいです。

体育館

- ・軽い運動(バランスボール、ストレッチ)
- ・エアートランポリン
- ・ダンス
- ・ボール種目(卓球、バスケ、フライングディスクなど)
- ・ランニング、ウォーキング
- ・スポーツ車いす
- ・トレーニングルーム体験



シールを10枚集めて
プレゼントと
交換しよう!



オリジナルバッグ
スタンプカード



ゴールボール選手
高田 朋枝さん

ユニバーサルタイムは、障害当事者や地域の関係者
が集まる「障害者スポーツネットワーク」でアイデア
を出し合い、取組んでいます。障害のある方が、もっと
気軽に、地域の施設を利用できるといいと思っていま
すし、ユニバーサルタイムが、そのきっかけになっ
てほしいと思います。
私もときどき、参加者として、サポーターとして、いろ
んな仲間とユニバーサルタイムを
楽しんでいます。
みなさんも、遊びに来てくださいね!

絵の提供:NPO法人杉並いずみ



令和6年度

ふれあい

2025.
3/16 SUN

10:00-15:00

たかいどちいきくみん
高井戸地域区民センター

スポ・レク体験会

主催 杉並区

主管 公益財団法人 杉並区スポーツ振興財団



東京2025デフリンピック大会エンブレム

とうきょう
東京2025デフリンピック開催に向けて
たいけん
デフスポーツを体験しよう

デフ
陸上

10:00-15:00

※詳しくは裏面

スタートランプ体験コーナー

デフ
卓球

10:00-12:30

※詳しくは裏面

デフ卓球で活躍する
亀澤理穂選手 &
亀澤史憲選手 来場

みんなで おどろう!
手話ダンス

14:30-15:00

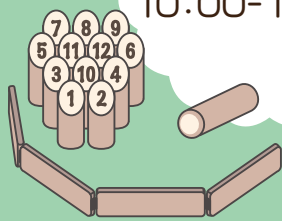
ATUSSY DANCE

橋本 淳

※詳しくは裏面

モルック

10:00-15:00



受付開始時間
10:00~

eスポーツ

「サッカーゲーム」「格闘ゲーム」

「カーレース」

10:30-15:00

卓球
バレー

10:00-14:00



手話
スタンプ

10:00-15:00

ペグ
ボール

13:00-14:30



日時: 令和7年3月16日(日)

午前10時~午後3時(時間内は出入り自由)

会場: 高井戸地域区民センター 3階 体育室

高井戸東3-7-5

対象: 障害のある方もない方も! 興味のある方どなたでも!

定員: なし

その他: 動きやすい服装、体育館シューズ、タオル、飲み物をご持参ください。

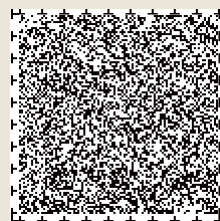
【問合せ先】公益財団法人 杉並区スポーツ振興財団

杉並区阿佐谷南 1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル8階

TEL: 03-5305-6161

FAX: 03-5305-6162

<https://sports-suginami.org/>



このチラシには視覚障害者の方に向けて、Uni Voice コード 右 が印刷されていることが分かるように側面に切り欠きがあります。
Uni Voice コードとは、専用の読み上げ装置やアプリを利用して紙に印刷された文字情報を音声で聞くことができるマークです。

令和6年度

ふれあい



たい けん かい

スポ・レク体験会

* 2025.

3/16 SUN

10:00-15:00

たかいどちいきくみん

高井戸地域区民センター



東京2025デフリンピック開催に向けて、デフスポーツを体験しよう



写真：(一財)全日本ろうあ連盟



写真：(一財)全日本ろうあ連盟

デフリンピックはきこえない・きこえにくいアスリートのための4年に1度開催される、国際スポーツ大会です。日本初開催となる2025年は、100周年の節目となる大会です。

デフリンピックの特徴

- * 競技中は補聴器などを外して、全員が公平にきこえない立場となって競技を実施します。
- * 「耳」がきこえなくても「目」で見分ける工夫(視覚的保障)がされています。
- * 世界各国から集まる参加者が国際手話をはじめとした様々な方法でコミュニケーションを展開しています。

詳細は大会ポータルサイトから ▶ <https://www.deaflympics2025.com/>

デフリンピック 開催日程

2025
11.15(土)
~26(水)



▲大会ポータルサイト

デフ卓球体験会

10:00-12:30



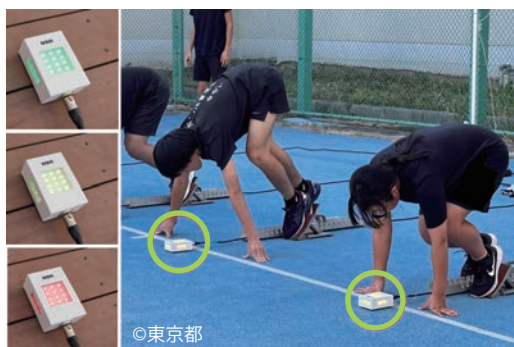
東京2025デフリンピック
出場決定!
亀澤 理穂 選手 来場



1990年東京都生まれ。住友電設(株)所属。先天性の難聴。幼少期から始めた卓球で、全国ろうあ者卓球選手権大会や世界選手権大会といったデフ卓球の国内外の主要大会に出場し、世界一も経験。2024年には全日本卓球選手権大会のデフ部門の出場枠を勝ち取る。

デフ陸上体験コーナー

10:00-15:00



©東京都

デフの陸上競技でのスタートの合図は音ではなく「スタートランプ」の発光です。このコーナーでは実際に使われているスタートランプの体験ができます。

eスポーツ体験

10:30-15:00 受付開始時間 10:00

年齢、性別、体力差などに関係なく楽しめるeスポーツ。

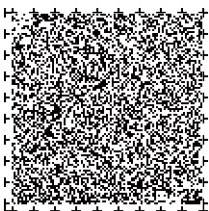
サッカーゲームとレースゲームでは『フレックスコントローラー』の活用で肢体不自由等の障害の方にも操作がしやすくなっています。

サッカーゲームでは「ePARAユナイテッド」のメンバーとプレイができます。(https://youtu.be/y1x69ozhUow)

大人気の格闘ゲームでは、サウンドアクセシビリティという機能を使って、相手キャラクターとの距離などをすべて音で伝えるため、視覚障害のある方も楽しめます。ePARAのブラインドプレイヤーとの対決にも挑戦できます!



ePARAユナイテッド紹介動画▶



みんなて おどろう! 手話ダンス

14:30

15:00

日本初の開催となる東京2025デフリンピックに向けて、子供たちが手話に触れるきっかけにしようことを目的に、ダンス楽曲『しゅわしゅわ☆デフリンピック!』が制作されました。手話の動きを振り付けの一部にとり入れたダンスで、きこえる・きこえないにかかわらず一緒に踊って、たのしむことができます♪



©東京都



旧杉並中継所の概要

旧杉並中継所は、小型プレス車で収集した不燃ごみを最終処分場へ運搬するための中継施設でした。平成12年度に東京都から施設が移管されましたが、不燃ごみが減少したことなどから、平成21年3月末に廃止しました。

都から移管されたときの条件で、20年間は清掃事業以外の用途で活用することができませんでしたが、現在は他の用途でも活用できるようになりました。



意見交換会の終了後、希望する参加者と一緒に普段は入ることができない施設の中を見学しました。

主なエリア

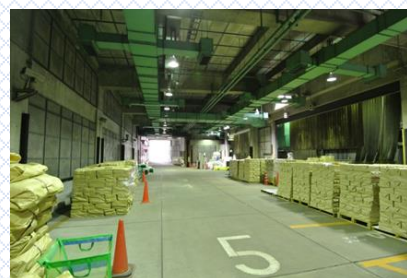


◀ 車路・昇降設備室

災害時にがれきなどの障害物を除去するための車両を、平時から保管する場所として活用しています。

地下1階 ホッパーステージ ▶

災害時に地域内輸送拠点として活用するので、防災機能に支障をきたさない範囲（設備を作りこまない）で平時の活用を検討します。



◀ 地下2階 機械室

平時活用占用エリアとなっており、設備の作りこみが可能です。撤去できない柱などがあり、活用方法が限られてくることを想定しています。



CHECK!

意見交換会当日の配布資料のほか、これまでの検討経過について、区ホームページ（右2次元コード）に掲載しています。

こちらもぜひご覧ください。



■問い合わせ

杉並区 政策経営部 企画課
施設マネジメント担当
〒166-8570
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎03-5307-0822

旧杉並中継所の
跡地活用に関する

意見交換会

Report No.1

令和6年12月発行



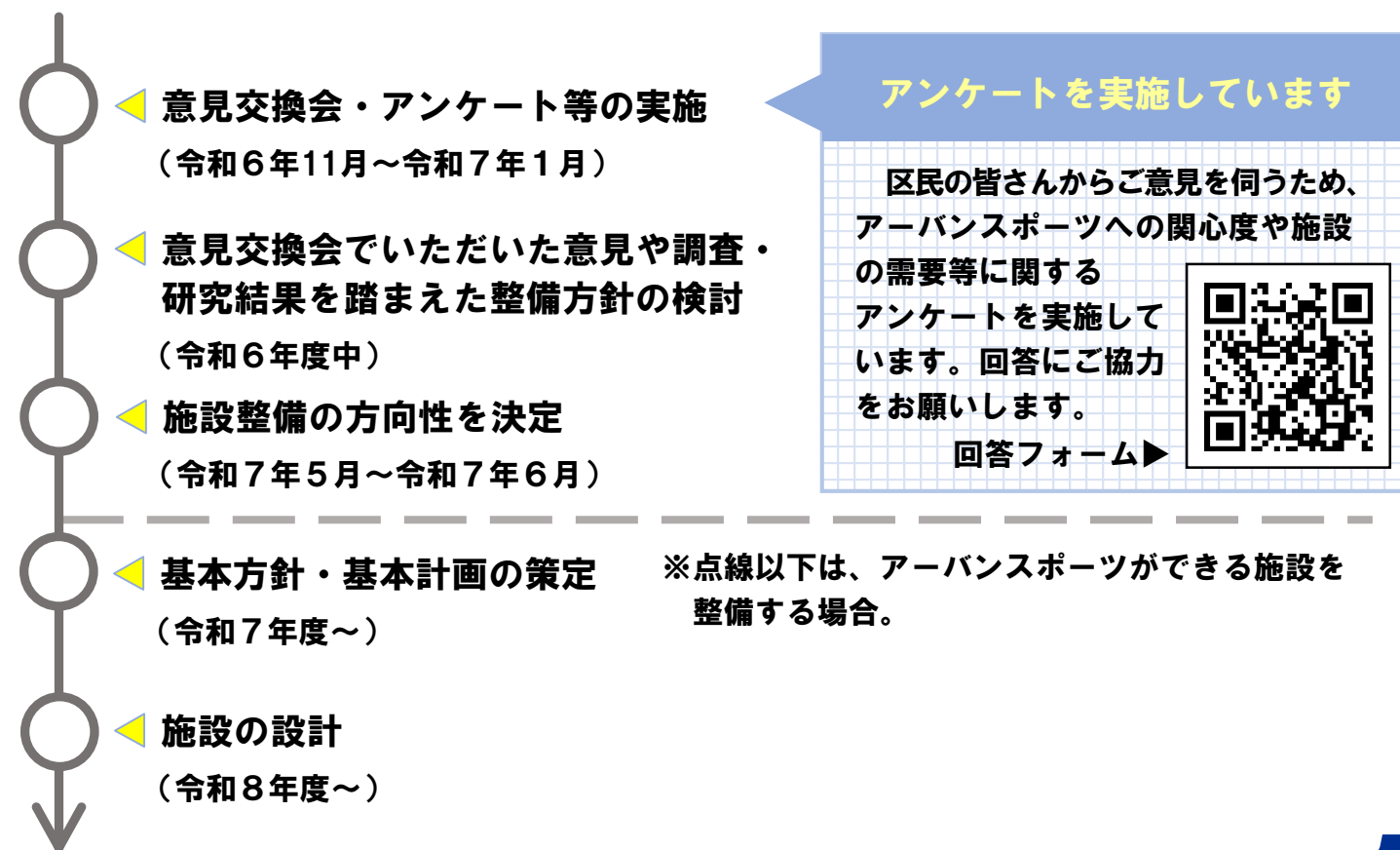
旧杉並中継所（井草4-15-18）は、災害時には防災拠点として活用することとしています。平時の活用方法については「杉並区立施設マネジメント計画」に基づき、令和7年度までに決定することとしています。

これまでの検討を踏まえ、区ではアーバンスポーツ（スケートボードやBMX等）などができる施設として改修・活用することを候補の一つとして考えていますが、施設整備を希望する方や不安をお持ちの方などの様々な意見を伺いながら、施設整備の実現性について皆さんと共に考えるため、意見交換会を開催しています。

今回は全3回のうち、令和6年11月17日（日）に開催した、第1回の様子をお伝えします。

取組の流れ（予定）

意見交換会を含む跡地活用の検討に関する取組は、以下の流れで進めることを想定しています。令和6年度中は意見交換会・アンケート等の実施のほか、施設の調査・研究を実施しています。



第1回意見交換会の様子をお伝えします

第1回の意見交換会には、施設の近隣にお住まいの方を中心に、アーバンスポーツの経験がある方、無い方など30名の方にご参加いただきました。また、当日は多くのお子様にもご参加いただき、様々な世代が集まる会となりました。

意見交換会の前半は、区のこれまでの検討経過やアーバンスポーツを取り巻く環境等について説明し、跡地活用を検討するための土台づくりを行いました。後半は、施設整備に伴う影響や課題、その解決策等について意見を出していただく時間としました。

理解を深めよう！

●旧杉並中継所の跡地活用の検討経過

旧杉並中継所の概要やこれまで区が行ってきた跡地活用の検討経過（アーバンスポーツができる施設が跡地活用の候補になった理由等）を説明しました。

また、平時活用の前提として、防災拠点の機能に支障をきたさない範囲で活用することや地域の皆さんの声を聞きながら公共性や住環境への影響等を踏まえて検討することなどをお示ししました。



旧杉並中継所の概要は4面をご覧ください

●アーバンスポーツを取り巻く環境等

平時の活用方法の検討に当たり、区においてはアーバンスポーツ施設の整備実績が無いことから、他自治体における実績や専門的な知見を有している事業者（NPO法人 日本スケートパーク協会。以下「事業者」という）の支援をいただきながら検討を進めています。

当日は、事業者からアーバンスポーツの概要やアーバンスポーツを取り巻く環境等の変化、他自治体の取組事例等をご紹介いただきました。



Skate Board



BMX



In-line Skates

more

跡地活用についての検討を進めるに当たり、説明を聞いて感じたことを共有する時間や疑問点（モヤモヤしたこと）を解消する時間を設けました。

なぜ平时に施設を活用する必要があるのか、その理由を教えてください。

近所に跡地活用の取組を知らない人もいたので、地域の人たちにこの取組をもっと知らせてほしい。

話し合おう！

●アーバンスポーツができる施設ができた場合の影響や整備における課題

アーバンスポーツができる施設を整備することによって、区や地域に与える影響（嬉しい影響・心配な影響）、課題について意見を出し合いました。ご一緒に参加いただいたお子様からもたくさんの意見をいただきました。



≪主な意見

- 子どもたちの遊び場・居場所が増える（雨や夏の暑い日でも遊べる）。
- 子どもから大人まで（老若男女）世代を超えた交流や健康増進が期待できる。
- 施設ができることにより、地元の商店街や店舗等に来客が増え、地域の活性化につながる。
- 騒音被害が出ないか心配。
- ごみのポイ捨てや路上喫煙が増えないか心配。
- 利用者にマナーを守ってもらえるようにすることが課題だと思う。

●課題に対する解決策

施設を整備することによる課題について、どのようにすれば解決できるのか意見を出し合いました。また、跡地活用に関する提案もいただき、アーバンスポーツができる施設以外の活用方法についてもご意見をいただきました。

≪主な意見

■課題の解決策

- 利用者を登録制にし、マナー講習の受講を必須にすれば、利用マナーが守られるのではないかな。
- 地下の屋内施設なので騒音の問題はないと思うが、数値で示せば安心してもらえるのではないかな。
- 施設外での滑走について井草森公園内や駅などに看板を設置するなど、継続的に注意喚起を行う必要がある。
- 夜遅くまで施設を開けないなど、営業時間を工夫すると良いと思う。

■跡地活用に関する提案

- ボルダリングやパルクールは音が出ないのでスケートボード以外のアーバンスポーツの観点からも検討して欲しい。
- アーバンスポーツだけでなく、他のスポーツができるエリアや交流スペースも設けるなど、幅広い年代に受け入れられる施設にしてほしい。
- 活用用途によって年齢制限を設ける、時間帯を区切るなど施設の使い方を工夫してはどうか。



皆さまからの質問への回答



アーバンスポーツと他の用途の複合化は可能なのか。



アーバンスポーツだけで施設全体を使用しない場合もあると考えていますので、他の用途との複合化は可能です。

例えば、ヨガやフィットネス、ダンスができる部屋や、会議やイベントスペースの整備など、ゾーニングによって様々なパターンがあると考えています。



施設内で滑走した際にどの程度の音が出るのか数値化して示すことはできないか。



計測器を用いて、新青梅街道沿いと旧杉並中継所の敷地内において、平常時とスケートボードを滑走した場合等の音を測定しました。

新青梅街道の通行車両の有無により測定値に増減はありましたが、スケートボードの滑走等による数値の大幅な増加（dB値の上昇）は確認できませんでした（測定結果は下表のとおり）。測定結果を踏まえると、施設内から発生する騒音の問題は解決できるものと考えています。

測定場所	測定時の状況	計測値
施設北西入口付近 （新青梅街道沿い）	平常時	51dB～75dB
	スケートボードの滑走等を実施した時	50dB～74dB
地下1階昇降設備室 （敷地内）	スケートボードの滑走等を実施した時	44dB～59dB

※測定は、平日の午前11時から正午の間に実施

その他の質問や質問への回答は、区ホームページ掲載の「第2回 説明資料」をご覧ください。

CHECK !

意見交換会当日の配布資料のほか、これまでの検討経過について、区ホームページ（右2次元コード）に掲載しています。

また、跡地活用に関するアンケートも実施しておりますので、こちらもぜひご覧ください。



■問い合わせ

杉並区 政策経営部 企画課
施設マネジメント担当
〒166-8570
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎03-5307-0822



旧杉並中継所の 跡地活用に関する

令和7年1月発行

意見交換会

Report No.2

旧杉並中継所（井草4-15-18）は、災害時には防災拠点として活用することとしています。平時の活用方法については「杉並区立施設マネジメント計画」に基づき、令和7年度までに決定することとしています。

これまでの検討を踏まえ、区ではアーバンスポーツ（スケートボードやBMX等）などができる施設として改修・活用することを候補の一つとして考えていますが、施設整備を希望する方や不安をお持ちの方などの様々な意見を伺いながら、施設整備の実現性について皆さんと共に考えるため、意見交換会を開催しています。

今回は全3回のうち、令和6年12月14日（土）に開催した、第2回の様子をお伝えします。

第2回のテーマ

アーバンスポーツができる施設を整備する場合の 課題の解決策を具体化しよう！

第1回の意見交換会においては、施設を整備することで地域に良い影響があるという意見があった一方で、施設が整備されることに不安や課題を感じるという意見もいただきました。

それらの意見を踏まえ、第2回では第1回でいただいた意見・質問等への回答や施設を整備する場合の課題について解決策を具体的に考えました。

●第2回の流れ

第1回の意見交換会の 振り返り、いただいた質問等 に対する回答

第1回の意見交換会の内容を振り返るとともに、第1回にいただいた主な質問等に回答しました。

また、その回答に対する全体質疑やグループワークを行いました。

主な質問と回答は4面をご覧ください

施設を整備する場合の 課題と解決策の検討

ストリートスポーツ（※）ができる施設を整備する場合の課題と解決策やストリートスポーツ以外のアーバンスポーツへの懸念や課題等について、グループワークで検討するとともに、グループごとに発表を行い、全体で共有しました。

※アーバンスポーツの中でもタイヤがついている種目

施設を整備する場合の 課題の解決策について 具体的に考えよう！

第2回の意見交換会では、第1回の意見交換の中で多くの方が課題として指摘した事項（施設外部における課題、施設内部における課題）を中心に、その対応策を具体的に検討しました。

また、ストリートスポーツ（スケートボードやBMX等のタイヤの付いているアーバンスポーツ）以外のアーバンスポーツ（パルクールやボルダリング等）ができる施設についても課題と対応策を検討し、施設整備の実現性について議論を深めました。

検討に当たっては、グループワークをはじめ、グループごとに検討した内容を全体に発表（共有）することで、様々な意見に触れ合う機会とすることができました。



outside

施設外部における課題（騒音・マナー違反など）への対応策

懸念される主な課題

○施設外部の騒音（公道や公園内での滑走、施設利用時間外の音（話し声など））にどのように対応するのか

○路上喫煙やごみのポイ捨てが増えないか



○近隣に違法駐輪や路上駐車が増えないか

皆さんが考えた主な対応策

- 利用登録制にして、1年ごとに更新する。登録・更新の際はルール講習の受講を必須にする。違反者には利用制限などのペナルティを与える。
- 利用者協議会をつくり、施設の利用状況等について周辺住民と定期的に意見交換する。意見交換の内容は、利用ルールに反映させるとともに、ルール順守のための啓発活動につなげる。
- 施設の周辺に看板を設置して禁止行為を明示するとともに、管理人が施設内外を巡回する。
- 課題が改善されない場合は施設の完全閉鎖や一時的な閉鎖も検討する。

○駐車場と駐輪場は十分に確保する。



inside

施設内部における課題（マナー違反やけが・事故など）への対応策

懸念される主な課題

○施設内のルール違反にはどのように対応するのか

○事故やけがの発生にどのように対応するのか



皆さんが考えた主な対応策

- 小学校と連携して体験会を実施するなど、マナーを学ぶ機会を積極的に設けていく。
- 他自治体のアーバンスポーツ施設のルールや運営を参考にする。
- 施設内にカメラを設置し、マナー違反の確認や保護者の見守り、混雑状況の確認に活用する。
- 管理人が常駐し、注意や確認できる体制を構築する。
- 登録証に緊急連絡先を記載し、施設内に病院の連絡先を掲示する。
- ヘルメット着用を義務化し、防具の貸し出しも行う。

another



タイヤの付いていないアーバンスポーツ（パルクールやボルダリング等）ができる施設を整備する場合の課題等

皆さんが考えた主な対応策

- 種目に限らず、施設内外での騒音やマナー違反への対策をすることが重要
- 種目によってけがの防止対策を充実させる必要がある

全3回の意見交換会を振り返って 感想等を共有しました

全3回の意見交換会の最終回である今回は、最後に参加者全員で車座になり、意見交換会に参加した感想等を共有しました。

騒音や利用者のマナーなどの課題にはきちんと対策案を示してほしい。

施設を整備した後の運用が重要だと思うので、この意見交換会で話したことを大切にしたい。

反対と思って参加したが、より良いモノを作ろうという姿勢を感じて気持ちが変わり、こういうものを作ると良いか考えられた。

自分の住む地域をより良くするための取組に参加できてよかった。

地域のことにとても詳しい方とディスカッションできるなど貴重な経験ができた。



「危ない」というイメージだけでアーバンスポーツの理解が進んでいない。これを機会にアーバンスポーツへの理解が変われば良いと思う。

意見交換会後の進め方について

意見交換会やアンケートでいただいた意見及び施設に関する調査等の結果を踏まえて、区の検討を支援している事業者（NPO法人 日本スケートパーク協会）が、調査報告書を作成します。

区は報告書の内容等をもとに施設の活用案を作成し、近隣住民をはじめとした区民の皆さんから意見聴取を行う予定です。その後、最終的に区として施設整備の方向性を判断することを想定しています。

調査報告書の作成

活用案の作成

区民からの
意見聴取

施設整備の
方向性の決定

CHECK !

意見交換会当日の配布資料のほか、これまでの検討経過について、区ホームページ（右2次元コード）に掲載していますので、こちらもぜひご覧ください。



■問い合わせ

杉並区 政策経営部 企画課
施設マネジメント担当
〒166-8570
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎03-5307-0822



旧杉並中継所の 跡地活用に関する

意見交換会

Report No.3

旧杉並中継所（井草4-15-18）は、災害時には防災拠点として活用することとしています。平時の活用方法については「杉並区立施設マネジメント計画」に基づき、令和7年度までに決定することとしています。

これまでの検討を踏まえ、区ではアーバンスポーツ（スケートボードやBMX等）などができる施設として改修・活用することを候補の一つとして考えていますが、施設整備を希望する方や不安をお持ちの方などの様々な意見を伺いながら、施設整備の実現性について皆さんと共に考えるため、意見交換会を開催しています。

今回は全3回のうち、令和7年1月19日（日）に開催した、第3回の様子をお伝えします。

第3回の テーマ

これまでの意見交換の内容を踏まえて、
具体的な施設の活用案を考えよう！

前回（第2回）の意見交換会では、施設を整備する場合の課題について解決策を具体的に考えました。

最終回となる第3回では、これまでの意見交換会で議論できていなかった、アーバンスポーツができる施設を整備する場合の施設のコンセプトや、どのような施設が求められているのかについて、以下の流れで意見交換等を行いました。

●第3回の流れ

区からの説明

- 第2回の振り返り
- 第2回にいただいた主な質問に対する回答
- これまでに出了課題への対応策のまとめ

個人ワーク

- ワークシートに沿って旧杉並中継所の活用案を考えよう



グループワーク

- 活用案についてグループで意見交換しよう
- 平面図を使って施設のゾーニング案を考えよう
- 施設の運営方法を考えよう

全体共有

- 全3回の意見交換を通じた感想等を発表しよう



具体的な施設の活用案を 個人でグループで 考えよう！

個人ワーク

ワークシートの設問と皆さんの主な意見

Q1 施設の主な利用者は？

- アーバンスポーツをする人もそうでない人も利用できる施設が良い
- 多世代が利用できる施設が良い ○区民の利用が中心になると良い

Q2 取り扱うアーバンスポーツの種目は？

- ストリートスポーツ（スケートボード、BMX、インラインスケート）
- それ以外のアーバンスポーツ（ボルダリング、パルクールなど）
- バスケットボール（3on3） ○ダブルダッチ ○騒音の発生しないスポーツ

Q3 アーバンスポーツ以外にあると良いスペースは？

- ラウンジ ○キッズコーナー ○見学スペース ○飲食スペース ○会議室
- 更衣室・シャワー室 ○ダンス・音楽等ができるスタジオ、鏡のあるスペース

Q4 良い施設とするためにどのような工夫が必要？

- 講習会の開催などを通じて、利用者がアーバンスポーツの技能だけでなく社会性を高められる取組を実施する
- 利用者協議会を設立して、利用者と近隣住民が定期的に話し合うことで双方が理解できる環境づくりを行う
- 幅広い世代の方に利用してもらうために、利用料金を低く設定する

Q5 上記を踏まえて大切にしたい施設のコンセプトは？

- 利用者と地域住民でつくる、地域と子ども達を育む区のシンボルのような施設
- アーバンスポーツをはじめとした様々なスポーツに出会え、スポーツを通じて多くの人も出会える施設

グループワーク

ワークシートの内容についての意見交換

他の人の発表を聴き、意見交換をすることで、様々な視点やアイデアを自分の活用案に取り入れブラッシュアップを行いました。意見交換では主に次のような気づきがありました。

区民が利用しやすい価格設定が必要ではないか（区民割引、子どもは無料にする等）

利用者や地域の人が見学できるスペース（カフェ等）を設けた方が、交流がしやすい環境になるのではないかと

平面図を使った施設のゾーニング等の検討

